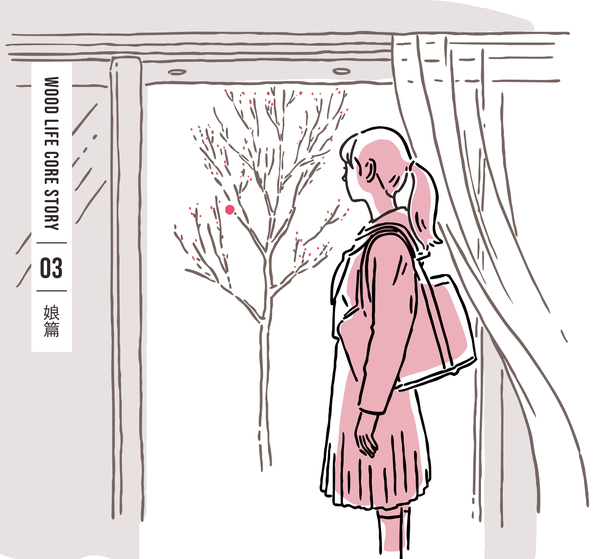
一級建築士事務所
株式会社コアー建築工房

木の家の一戸建ては
コアー建築工房

WOOD LIFE CORE STORY | 03 | 娘篇

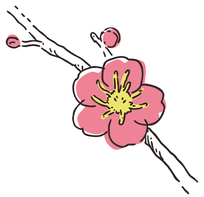
サクラサクまで、あと一歩。



今日は受験。
窓を開けると冷たい風がすっと入ってきて、
カーテンが揺れた。
何度も繰り返してきた朝と同じ、
変わらない景色に、少しだけ安心する。

ふと庭を見ると、
昨日まで咲いていなかった梅の花がひらいている。
「サクラサク」までまだ日があるけど、
そっと背中を押してくれるようで。
わたしのことをずっと見ていてくれたようで、
なんだかちょっぴり嬉しい。
この家は、季節の訪れを感じられる。
落葉樹の枝が伸び、
葉が散ってまた花が咲くたび、
わたしの背も少しずつ伸びた。

深く息を吸い、
心の中で「いってきます」と言ったとき。
「いってらっしゃい」
と返事をくれた気がした。
それが、梅の花だったのか。
この木の家だったのか、
ただの思い過ごしか。
わからない。
でも確かにわたしはいま、この家とともにあるんだ。
だからもう怖くない。
桜はきっと咲くだろう。



続篇はWEBで順次公開予定 ↓

携帯電話のご利用マナーにご協力ください。